

東京のIT企業「ISF NET」

ワーケーション期間に 長崎で学生向け説明会



事業内容などを学生に説明する「ISF NET」の担当者(左側)ら
＝長崎市、出島交流会館

関係人口増へ 県が推進

旅先で余暇と仕事を両立する「ワーケーション」で長崎市を訪れた東京のIT関連企業「ISF NET(アイエスエフネット)」が24日、同市内で大学生向けの企業説明会を開いた。県によると、県が誘致したワーケーション中に企業が

説明会を開くのは初めて。県は人口減少対策の一環で関係人口の増加を図るためワーケーションを推進しており、2020年度から受け入れ事業を始めた。希望する企業と受け入れ自治体の「マッチングツアー」などを展開。昨年度までに

県が関わった受け入れは計13件を数える。

「ISF NET」は、労働人口減少やデジタル技術普及といった課題を抱える本県と交流することで、新たな価値を創造できると期待し、ワーケーションの滞在先に決めた。22日から3泊4日で同社の広報担当者やエンジニア計8人が滞在した。

説明会には、情報通信などを学ぶ県内の大学生5人が参加。同社の社員が事業内容や働き方改革への取り組みを説明した。エンジニアが講師を務め、セキュリティ対策などを教えた。

参加した長崎大教育学部の中村水優さん(19)は「就職活動の参考になった。社会人になったら自分に合った働き方を実現したい」と話した。(江川雅玖)